

臨床工学技士のご紹介！！

臨床工学科 萬徳 円

実はこんなこともやっています！

今回はコドモックルの臨床工学技士（MEさんやCEさんなどと呼ばれています）がどんなことをしているのか、また、それに加えて最近増えたお仕事を紹介します。

Q：臨床工学技士って何者??

A：医療機器のスペシャリストです！

コドモックルにおける臨床工学技士の業務は以下の通りです。

人工心肺業務

- 心臓手術をする際に、心臓や肺の代行装置操作やECMOの準備



手術室業務

- 手術室で使用する機器（脳外科の神経刺激装置や内視鏡など）の準備と機器側の操作



医療機器の保守点検業務

- 輸液ポンプやシリンジポンプ等病室や手術室で使用する医療機器の点検や管理



・非常勤講師・実習生受け入れ

非常勤講師として臨床工学技士養成校の授業に赴いています。

また、道内全ての養成校の実習生（年15人程度）を受け入れています。

・遠方への患者搬送

医師や看護師と共に遠方の病院へ患者様を搬送しています。その際に臨床工学技士は医療機器管理（モニタや人工呼吸器、ポンプ等）を行っています。

・医療ガスの管理

病院で使われる酸素や空気などの医療ガスが供給されるよう供給圧の点検や、酸素の残量確認や空気を作るモーターが動いているか点検しています。

・在宅支援への介入

当院では在宅医療機器の使用・保守状況の把握や手配、トラブルに関する対応、パルスオキシメーターや輸液ポンプなどの貸出業務、ご家族への使用方法説明など沢山のことを請け負っています。

臨床工学技士は、臨床工学科独自の基本理念、基本方針に沿って業務を行っています。

基本理念

「私たちは、安全で高度な医療機器・医療技術を通じて、良質な医療・療育を提供し、将来を担う子供たちの健やかな成長・発達を支援します」

基本方針

- 子どもの人権を尊重し、安全で高度な医療機器・医療技術を継続的に提供します。
- 子どもや家族の立場に立って、医療・療育の施設基盤を支えます。
- 教育・研修・研究活動に力を注ぎ、人材育成と専門職人として質の向上を図ります。
- 多職種と連携し、子どもたちの地域での在宅生活を支援します。
- 北海道職員として、医療技術の質と安全を担保しながら業務の効率化と経費削減に努めます。



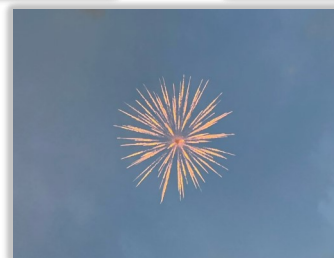
花火大会を開催しました！



令和4年7月、手稲養護学校グラウンドにて花火大会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響から昨年、一昨年と中止となり、3年ぶりの開催となりました。

当日は、曇り空でしたが、雨に当たることなく、リハ課職員による花火ショーや夜空を彩る打ち上げ花火を子供たちと楽しみました。

ご参加、ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



Twitterやってます♪

コドモックルはTwitter（ツイッター）を使って情報発信しています。
コドモックルのできごと・お知らせの掲載、災害時に情報提供を行います。
ぜひ、フォローお願いします。

